



合戦の部で審判を行う袴を着た行司。



保存会では、子どもたちに地域の自然や生態系などの勉強会も開いている。



表彰状を贈る保存会 吉村会長。この先100年続く誇れる大会に、と願う。

子どもも大人も真剣勝負！
400年続く伝統行事

島津義弘公が晩年を過ごした始良市加治木町で400年続く伝統行事「くも合戦大会」。義弘公が文禄・慶長の役に参戦した兵士の士気を高めるために始めたと言われていきます。毎年6月第3日曜日に開催され、小学生から合戦歴50年以上のベテランまで、約200人が自慢のコガネグモを連れて参加し、熱戦を繰り広げます。

合戦は、八頭身ですらりとしたクモのスタイルや色艶の美しさを競う「優良ぐもの部」、横棒の上で決戦を行う「合戦の部」、合戦で勝ち上がったクモが出場しチャンプイオンを決める「王将戦の部」の3部門で行われます。

全国的にも珍しく、長い歴史のなか脈々と受け継がれる真剣な戦い。観客たちは手に汗を握り、会場は一戦ごとに大歓声に包まれます。



【始良市】

くも合戦大会

※1 国選択無形民俗文化財

島津義弘公の時代から続く伝統行事「くも合戦大会」をご紹介します。

祭りの舞台

加治木福祉センター

開催日： 毎年6月第3日曜日に開催
(今年は中止)

住 所： 始良市加治木町本町393番地

駐車場： あり(無料/30台)

TEL： 0995-62-2111

(始良市加治木総合支所 加治木地域振興課)

